

国語	単位	2 単位	学科・学年	普通科・2年
			コース・組	普通コース1～4組、特進コース5組
使用教科書	新編古典B (東京書籍)		副教材等	「国語便覧」 浜島書店

1. 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2. 学習の計画

学期	月	教材名	学習の目標	評価の観点			配当時間
				意欲態度	読む	知識理解	
学 期	四	小野篁、広才のこと(宇治拾遺物語)	・比較的短い説話を読んで、古文に親しみをもち、話の面白さを理解する。	○	○	○	3
		大江山の歌(十訓抄)	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	3
	五	竹取物語	・昔話としてなじみのある作品を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	4
		一学期中間考査					
		小話 知音	・短い文章を読んで漢文に親しみをもち。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。	○	○	○	2
		断腸	・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・故事や小話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。	○	○	○	2
	六	徒然草	・随筆を読んで、古文に親しむ。 ・筆者の考えと現代人の考えとの違いや、共通点について理解する。 ・仏教と人々について、時代背景をおさえる。	○	○	○	8
		一学期期末考査					
	七	唐詩 李白	・唐詩に表現された作者の心情を、その時の作者の境遇と合わせて理解する。 ・詩形・押韻・構成・対句について理解する。	○	○	○	2
		杜甫	・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	○	○	○	2
白居易			○	○	○	2	
八 九	土佐日記	・日記文学について学び、作者に起きた出来事や、そのときの心情を読み取る。	○	○	○	4	
	更級日記	・当時の人々の暮らしについて理解する。	○	○	○	4	

二 十 学	項羽と劉邦 鴻門之会	<ul style="list-style-type: none"> ・史記を読み、漢文に親しむ。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 	○	○	○	3
	二学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の心情や状況を理解し、内容を読み取る。 ・中国の歴史の記録について、その特徴を知る。 	○	○	○	3
	四面楚歌					
十 一	奥の細道	<ul style="list-style-type: none"> ・紀行文を読んで、自然や人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 	○	○	○	7
	二学期期末考査					
十 二	小倉百人一首の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・人々に親しまれてきた和歌を詠み味わい、鑑賞する。 ・和歌に表れた作者のものの感じ方や、表現の工夫を理解する。 	○	○	○	4
学 期	一 平家物語	<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を読み、古文に親しむ。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助動詞について理解する。 	○	○	○	6
	二 寓話 出藍誉	<ul style="list-style-type: none"> ・寓話を読み、故事成語の意味をとらえる。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 	○	○	○	3
	三 十八史略	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文で三国志の世界を知り、歴史の面白さを味わう。 ・登場人物の性格や心情を読み取り、人間の在り方について考える。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・句形の読みと意味について理解し、それに即して口語訳をする。 	○	○	○	8

3. 課題、提出物

- ①授業時のプリントやノートの提出があります。
- ②提出物や課題は、成績評価に加味します。
- ③暗唱テスト、音読テスト等も実施します。

4. 評価の観点

関心・意欲・態度	読む力	知識・理解
言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとしているか。	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしているか。	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけているか。
上記の観点をふまえて、定期考査・提出物・授業態度・確認テスト等で総合的に評価します。		